

令和3年度 柏四小 学校評価(自己評価)

学校教育目標 「グローバル人材の育成」

重点目標 ・共生的な態度の育成 ・主体的な態度の育成

めざす児童像 「人を大切にする子」 「自分で考えて行動する子」

※グローバル人材の基盤となる力を多様性を理解した上での行動力とし、「共生的・主体的な態度の育成」を重点に取り組んだ。

目標達成のための手立て	自己評価
<p>共生的な態度の育成</p> <p>個のよさ・可能性を認め合う集団づくりを通して、自己肯定感・存在感、自他の人権を尊重する心を育む。(自分を、まわりの人を大切にする。)</p>	<p>(B)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度実施できなかった、校外学習、宿泊学習、児童会行事等の特別活動を感染対策を講じながら実施でき、多様な集団活動を通して、個のよさに気付かせることができた。 ・特別支援学級との交流授業、車いすバドミントン選手との交流授業、地域のお年寄りとの交流授業(書き初め)を実施し、交流を通して多様性の理解が促進できるよう努めた。 ・アンケート結果から育成されていることがわかるが、今後も個に応じた支援が必要である。
<p>人を大切に「人」を大切に「子」</p> <p>「分かった・できた」を実感させる学習活動を通して、知識技能、学ぶ意欲の定着を図る。(自分を大切にする。)</p>	<p>(B)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・算数授業では、担任のほか補助教員を配置し二人体制にしたり、教員を目指す地域の学生ボランティアを集めたりして、複数体制で個の実態に即した支援ができるよう努めた。 ・地域人材を活用し、2, 3, 5, 6年対象に、補習教室を実施した。 ・児童アンケート結果では「わかるできるが増えた。」と90%回答しているが、今後も個に応じた指導方法について改善を重ねていく必要がある。
<p>「地域を知る・地域にかかわる」学習活動を通して、地域愛を育む。(地域の人を大切にする。)</p>	<p>(B)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域の職場学習」「地域の環境学習」の際には、地域の人材を講師としてお招きしたり、直接に現地について学習したりと、地域の協力を得ながら体験学習を実施した。 ・コロナ禍により地域のお祭りや行事へのかかわりでの評価はできないが、児童アンケート結果では「地域への貢献に関すること」に84%が肯定的評価をしている。
<p>主体的な態度の育成(自分で考えて行動する子)</p> <p>自分で考え表現する場のある授業づくりを通して、経験値を基に、思考力・判断力・表現力を育む。</p>	<p>(B)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内授業実践のテーマを「思考力・判断力・表現力を育成する指導法の工夫」とし、外部講師から指導を受けながら、授業改善に取り組んだ。 ・読書を推進し、意欲付けのため「貯本通帳」と称した、読書記録カードを実施した。 ・アンケート結果から、児童の自己評価や保護者評価も高くないことが分かる。今後も育成に向けた授業改善が必要である。
<p>子どもに任せる場、挑戦させる場の設定を通して、経験値を基に、自分で考え行動する力を育む。</p>	<p>(B)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会活動や係活動等の自治的な活動や多様な集団活動の場では、自分たちで行動できるよう、支援に努めた。児童アンケートでは、「多様な学習を楽しめた」と93%が肯定的に回答している。 ・言われたことはまじめに一生懸命に取り組む児童が多い。今後は、自ら課題を見つけて改善にむけて行動する力も成功体験を通じて育成していきたい。
<p>体育科の授業を通して、運動量を確保すると共に、日常的な体力づくりへの意欲を育む。</p>	<p>(C)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育発表会で、表現運動、徒競争を実施し、保護者に日頃の運動の成果を発表した。 ・縄跳びやボール型ゲーム等、各種カードを活用し、主体的に運動ができるよう意欲付けを行った。 ・水泳授業の中止、ジャングルジムの使用中止等、子供の体力づくりにかかわる制限が多く、アンケート結果も最も低い評価である。
<p>災害・感染の理解を深める指導、定期的な訓練を通して、「自分の身は自分で守る」力を育む。</p>	<p>(A)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に避難訓練(告知在り、告知なし、授業中、授業時間外等)を実施し、一人一人が自分で考え、安全に身を守る行動ができるよう、訓練の積み重ねを大事にした。 ・各学年の発達段階に応じて、柏警察と連携し「交通安全教室」「救命講習」を実施した。 ・コロナ感染対策では、「10の約束」の掲示や消毒機器の配置等環境を整えた。 ・アンケート結果は高い評価である。
<p>協働</p> <p>職員同士、保護者・地域・関係機関とつながり、地域に開かれた安心・安全な学校をつくる。</p>	<p>(B)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の様子を知る機会として、学校だよりやHPで教育方針や活動の情報発信に努めた。保護者のアンケートでも高い評価をいただいた。 ・地域の方と顔の見える関係を目指し、地域・保護者と共同で防災研修を実施したり、学校運営協議会で協議を重ねたりしてきた。保護者・地域の方のご協力により環境整備ができた。 ・保護者に実際に学校の様子を参観いただく機会が少なかったのが課題である。

《評価基準》

A 適切な取組がなされていて、十分達成できている。

B 適切な取組がなされていて、おおむね達成できている。

C 取組はなされているが、成果が十分ではない。

D 取組が不十分で、成果があがっていない。